

HANDS

Kokura Memorial Hospital

57

2014 SUMMER



一般財団法人 平成紫川会

小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号 TEL.093-511-2000(代表)

TEL.093-511-2062(医療連携課) FAX.0120-020-027(医療連携課) FAX.093-511-2032(救急室) 夜間・休日における救急患者の情報のみ

【表紙】Nature(農業体験農園にて)

北九州市若松区にある、とまと狩り・農業体験農園Natureでミニトマトを収穫していらっしゃるお子さん。当院ホームページリニューアルにあたり、トップ画面でご紹介しています。「主役は、街に暮らす人々」というコンセプトのもと、北九州市にお住まいの方々、または働く方々に撮影でご協力いただきました。



小倉記念病院 ホーム ページリニューアル！

いつもの暮らしに、いつものあなた

当院のホームページを全面リニューアルし、公開いたしました。コンセプトは、「主役は、街に暮らす人々」。当院を通して、いつもの笑顔ある暮らしを送ってTOPページでは、北九州市にお住まい、またはコンテンツも充実し、患者さんやそのご家族、医療関係者の皆さんに、

しました。コンセプトは、「主役は、街に暮らす人々」。いただきましたという願いをこめて、制作しました。働く皆さんの元気な姿をお届けしております。当院の特徴やご利用方法などをより分かりやすくご紹介しております。



○フォトギャラリー

てもりましたが、単に甘いトマトでは表現できない糖度と酸味のバランスが良い深いコクのあるトマトでした。生産者の方々の愛情が伝わる逸品です。最後は当院の職員、医師・放射線技師・事務員の3家族を撮影しています。元気なお子さんたちと格闘する医師の姿や、車の修理工場を奥さんと一緒に守り続け息子を立派に育て上げたご両親、初孫に喜ぶ4世代家族。普段の生活にお邪魔させていただき、いつもの医療従事者ではなく夫・お父さん・息子という側面を撮影しています。

今回のコンセプトは「主役は、街に暮らす人びと」ですから、撮影にもこだわり「街で活躍する写真家」を起用しています。撮影者は木寺路さんです。

フォトスタジオF.U.の代表で、多分野のアーティスト達とのコラボレートなど精力的に活動している方です。

さまざまな方々のご協力で完成したホームページですが、街で暮らす人々が「いつもの暮らしに、いつものあなた」でいられるように、今後も地域のために活動していきます。

若松のトマト農園「Nature」さんの撮影にお伺いした時は、トマト狩りの真っ只中。ビールハウスの中は、真っ赤に輝くトマトがたくさん。撮影の合間に試食させていただきました。

旦過市場では鯨専門店やお肉屋さん、お茶屋さんなど、ご家族ご夫婦で営まれている7店舗の方々に協力いただきました。現在は北九州の観光名所となっている旦過市場ですが、そこには昔から変わらない雰囲気と、ご家族の絆を垣間見ることが出来ました。

到津の森動物園さんは、園長先生を始め飼育員の方々が普段は入れないバックヤードにお邪魔させてもらい、撮影しています。撮影班も初めての経験で動物園の裏側では、動物を愛するひたむきでありのままの飼育員さんたちを撮影することが出来ました。

今回TOPページの撮影にご協力いただいたのは、
・到津の森動物園
・旦過市場
・若松トマト農園
・職員3家族
です。



○ホーム



Professional

【プロフェッショナル】

高度先進医療と そのプロフェッショナルたち

限らない”信頼”と深い”愛情”
の上に築かれる診療を目指す

医師は自分の持てる知識・経験・技
量で病気を治さなくてはなりません。し
かし、病気の中にはまだ治せないものも
数多くあります。また、病気を診て患者
さんを診ない医師に対して不満を抱く
患者さんもいます。いくら知識と経験
の豊かな医師でも病気を診て患者さん
を診ないと言うのであれば、本当に患者
さんを診たことにはならないはずです。
最近診断技術が進歩し、検査データ
だけで診断がつくことが多くなり、患者
さんを診るということを忘れがちになっ
てしまいます。医師は病気の治療だけ
でなく、患者さんを癒やすことを忘れては
いけません。

ただ「やさしさ」は良い医師の条件の
一つですが、それだけでは、良い医師とは
言えません。親身になって考えてくれる
医師でも、病気を治せる医師でなくて
はなりません。病気を治してもらいたい
患者さんとしては、腕の悪い医師にか
かっているのは病気も治りません。

良い医師とは、親切で、よく勉強し、
治療にあたっては根治と患者さんの
QOL（生命の質）を考えられるラン
ス感覚を持つ医師だと考えます。

当院の医師はこのような医師像に近
づけるように、高度先進医療を駆使し
て25の専門診療科が院内連携で強く結
ばれ、医療の総合力を高め、高い専門性
を発揮するチーム医療に取り組んでい
ます。そして患者さんとの間に、限り
ない”信頼”と深い”愛情”の上に築かれ
る診療を目指しています。

医師たちの人間らしさを伝える

今回のホームページでは治療法や実
績の開示はもちろんのこと、実際の診
療にあたる医師を詳しく紹介していま
す。プロフィールだけではなく、医師とし
ての信念を直筆で書いており、なかには
きれいな文字や一方で味のある文字もあ
りますが、医師たちの人間らしさが伝わ
れば何よりです。外科系の医師は普段
の白衣姿と手術の執刀中に撮影を行
いましたが、手術室特有の緊張感のある
空間の中で患者さんと真剣に向き合っ
ている姿は、先程まで外来で笑いなが
ら話していた医師とはまるで違います。

医師である前にひとりの人間として
治療に臨む。そういった医師を今後もご
紹介していきます。



○ホーム>診療案内>(各診療科・各部門へ)



外来医師担当表

各診療科ごとに、どの医師が何曜日の担当かを
確認することができます。



医師紹介

各専門分野のプロフェッショナルを全て網羅。
医師のプロフィールを詳しく見るができます。



実績

当院で行われた手術や治療などをグラフでご紹介。
業績集で医師の学会活動を見ることもできます。

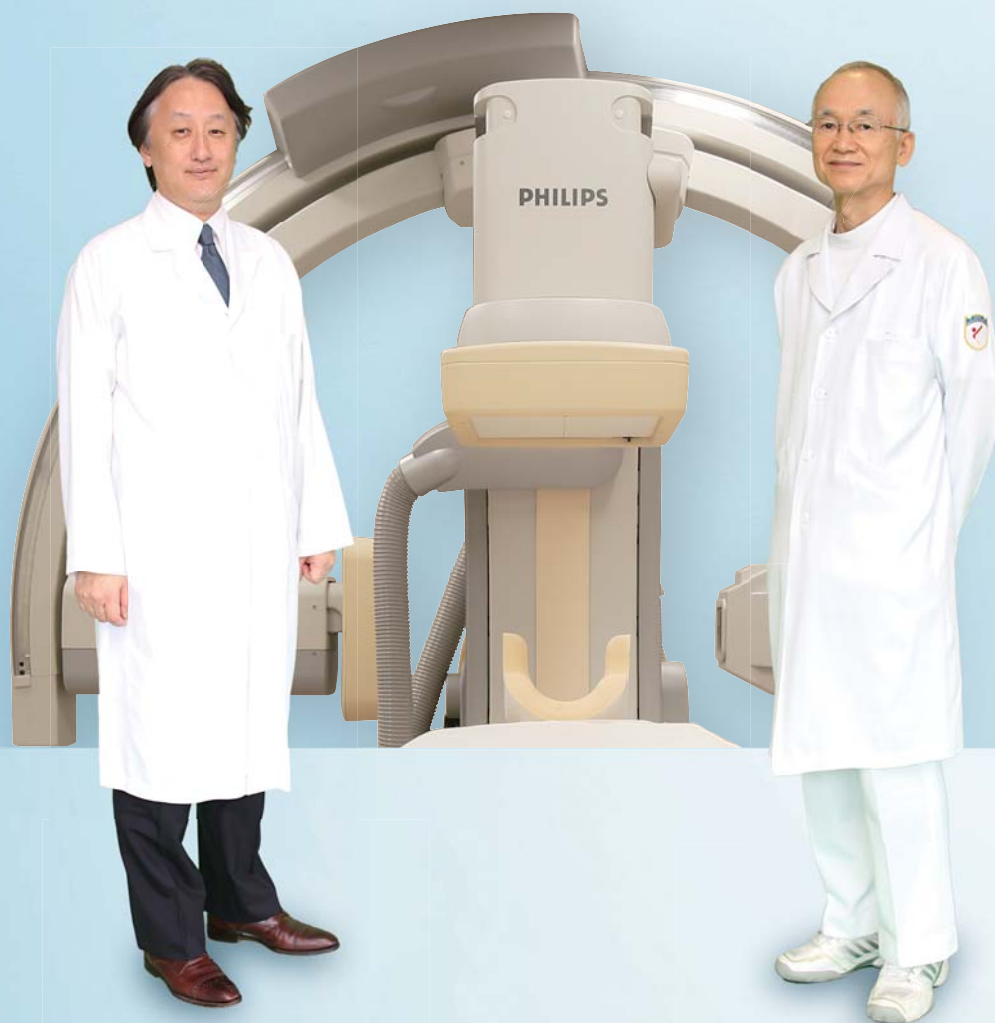


主な疾患と治療法

各診療科の代表的な疾患をあげ、
その症状、検査方法、治療法、設備をご紹介します。

Stroke center

【脳卒中センター】

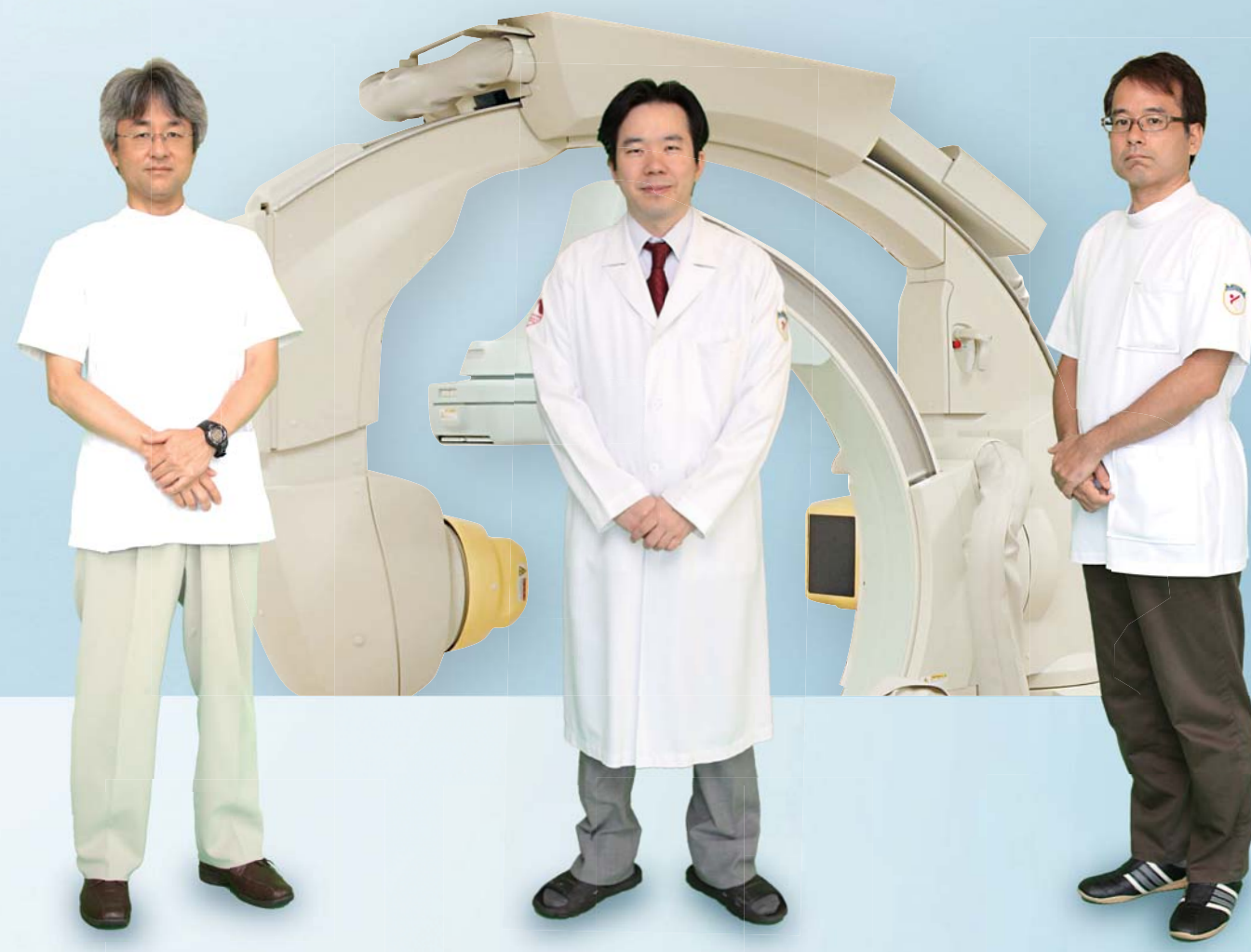


脳卒中センター長
脳神経外科主任部長
中原 一郎

神経内科部長
椎 裕章

Heart disease center

【心臓病センター】



心臓血管外科主任部長
兼副院長
羽生 道弥

循環器内科主任部長
安藤 献児

血管外科部長
岡崎 仁



○ホーム>診療案内>脳卒中センター

生命に直結する脳疾患に
高度な技術で立ち向かう。

小倉記念病院 脳卒中センターは24時間365日体制で脳疾患と立ち向かっています。超急性期の先進的治療から地域と連携をとりながら社会復帰に至るまでの包括的医療を、各専門分野のスペシャリストで構成された脳卒中サポートチームで支えています。高度専門医療を駆使しながら国内屈指の診療実績を積み重ね、脳卒中医学の発展に貢献できるよう取り組んでいます。



○ホーム>診療案内>心臓病センター

循環器疾患のパイオニアとして
トップランナーであり続ける。

小倉記念病院の心臓病センターは開設以来35年、診療科の垣根を越えてリスクの高い心臓病と患者さんとともに闘ってきました。世界レベルの技術と最新の医療設備で地域に密着することにより、国内屈指の実績を誇っています。循環器疾患のパイオニアとして、これからも安心して暮らすことのできる地域づくりに貢献していきます。

TAVI

【経皮的動脈弁植え込み術】

TAVI治療実績

48件

(2014. 8. 31現在)

TA (経心尖アプローチ) 12件

TF (経大腿アプローチ) 36件



小倉記念病院は、TAVIが九州で初認定された病院です。

心臓外科手術が困難な大動脈弁狭窄症に対する新しい治療方法です。カテーテルという管を用いた新しい大動脈弁の治療方法で、心臓外科手術に比べ体の負担が少ないというのが特長です。現在、欧米では経皮的動脈弁植え込み術 (TAVI) が施行されており良好な成績が得られています。当院では4年前からこの治療を行っています。



○ホーム>診療案内>診療の最前線

Cancer treatment

【がん治療】

自分らしい生活を送るための低侵襲外科治療

近年、各種癌領域における診断技術の進歩により「根治可能な癌」が増加し、より負担の少ない治療を選択し、術後長期の臓器機能、QOL (quality of life) を重視することが求められています。当院では内視鏡下外科手術、各種の最新技術を用いた癌局所治療を駆使することにより、治療後の回復が促進され、患者満足度の向上につながる低侵襲外科治療を実施しています。



○ホーム>診療案内>がん治療



外科

消化器内科

泌尿器科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

婦人科



嚥下サポートチーム
Team Swallowing Support



ハートチーム
Team Heart



脳卒中サポートチーム
Team Stroke Support

Team Medical Care

【チーム医療】

1人の患者さんに複数のメディカルスタッフが連携し、治療やケアを行う。

当院では、様々な職種のメディカルスタッフが働いています。こうした異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、入院中や外来通院中の患者の生活の質の維持・向上、患者の人生観を尊重した療養の実現をサポートしています。



感染管理チーム
Team Infection Control



褥瘡ケアチーム
Team Pressure Ulcer Care



緩和ケアチーム
Team Palliative Care



○ホーム>診療案内>チーム医療



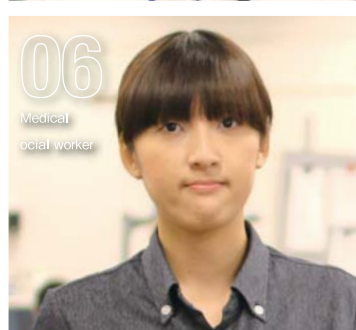
医療安全チーム
Team Medical Safety



糖尿病チーム
Team Diabetes



集中ケアチーム
Team Intensive Care



Recruit

【リクルート】

患者さんが私たち医療人に期待することは何でしょうか？

患者さんが期待することは、素晴らしい医療技術や高い知識・豊富な経験に裏打ちされた判断力、安全性、優しさ、丁寧な説明、接遇、責任感などが言えるでしょう。しかしそれらはすべて「患者さんのために」という情熱、強い使命感から発するものです。私たち小倉記念病院の最も大切な資産は「人」です。当院の理念である「3つの幸せ」は、職員ひとりひとりが日々いきいきと働けて幸せになることが、患者さんの幸せに繋がり、ひいては地域の幸せに貢献できるという考え方です。これからの時代を担う人材として一緒に小倉記念病院を支えるスタッフになって共に働き、喜びを分かち合えたら、こんなに嬉しいことはありません。



○ホーム>リクルート